

喜びを富士に告げよう！

後期学校評価特集号
富士市立吉原北中学校
令和8年3月

令和7年度 後期学校評価 結果

「後期学校評価アンケート（12月実施）」への御協力ありがとうございました。アンケート結果がまとまりましたので御報告致します。なお、保護者の皆様からの御意見とアンケート結果（詳細）も掲載しております。併せて御一読下さい。

【生活面について】～居心地の良い学校を目指して～

番	対象	質問項目 《グラント・デザイン目標値》 ※ 生徒と保護者の質問が同じでない場合は類似項目	数値：％（前期比較）	
			生徒	保護者
3	生徒	何事にもあきらめずに粘り強く取り組んでいる	94.7	80.9
	保護者	お子さんは、何事にもあきらめずに粘り強く取り組んでいる	(+0.2)	(-2.0)
6	生徒	自ら考え、判断し、行動している	95.7	87.5
5	保護者	お子さんは、自ら考え、判断し、行動する力が伸びている	(+0.2)	(+2.7)

生徒同士が支え、励まし合う場面を数多く設定し、どの生徒にも居場所があり自己有用感が得られるよう教育活動を進めてきました。その結果、上のアンケートのように大部分の生徒が学校生活に肯定的に取り組んでおり、「居心地の良い学校」に向けて進むことができていると考えます。しかし、保護者の実感との開きがある点が今後の課題です。来年度も教職員一同でひとりひとりの生徒を支え励ましていきます。

【授業・学習について】～学び心地の良い授業を目指して～

番	対象	質問項目 《グラント・デザイン目標値》 ※ 生徒と保護者の質問が同じでない場合は類似項目	数値：％（前期比較）	
			生徒	保護者
8	生徒	授業が分かり、課題に取り組むことができている	92.4	76.5
6	保護者	お子さんは、授業で学習した内容を理解している	(-0.8)	(+0.2)
9	生徒	授業中、仲間の思いや考えを受け止めてもらえている	99.3 (+0.3)	
10	生徒	ICT機器（タブレットPC等）を授業で活用している	97.4	76.0
7	保護者	お子さんは家庭学習でもタブレットPCを有効に活用している	(-1.4)	(+1.8)

安心して思いを表現できる授業環境の醸成や生徒同士の関わりの充実等を重視して、日々の授業改善に努めています。具体的には、単元（同じ学習内容のまとめ 例：社会科「江戸時代」）全体で取り組む課題の設定や授業での課題の出し方、様々な人数での話し合い活動のような協働的な学習等の取組をしてきました。これにより授業に肯定的に取り組む、「学び心地の良さ」を実感している生徒が多くなっていることがアンケート結果から読み取れます。一方、学びを学習内容の定着に繋げていくことが課題です。また、上のアンケート結果からは、授業でのICT機器活用には高い数値がでていますが、家庭での活用に課題があることがわかります。

来年度も、学び心地のよい中で、「わかった！」「できた！」を実感することができる授業改善を行うとともに、学習内容の定着に欠かせない家庭学習の習慣化やICT機器の有効活用について、教員一同働き掛けていきます。

【総括】～安心感のある学校を目指して～

今年度、本校では、吉原北中校区小中一貫教育目標「自分らしく ともに 輝く」、めざす子供像「自分で考えて行動」「最後までチャレンジ」「自分も大切 あなたも大切」の元、重点目標「最後まで ともに チャレンジ」を掲げ、「居心地、学び心地の良い安心感のある学校づくり」に取り組んでまいりました。

番	対象	質問項目 《グランドデザイン目標値》 ※ 生徒と保護者の質問が同じでない場合は類似項目	数値：％ (前期比較)	
			生徒	保護者
1	生徒 保護者	小中一貫教育目標、めざす子供像、重点目標を意識して生活している。	98.3 (+2.6)	89.7 (-0.8)
2	生徒	仲間と安心して過ごしている。《96%》	99.0 (+0.0)	96.0 (+0.7)
	保護者	学校はお子さんを安心して任せることができる場所になっていますか。		
5	生徒	学校には、悩みをもったときに相談できる先生がいる	90.1 (+4.7)	—
7	生徒	学級の中で自分の居場所があると感じている《93%》	97.0 (-0.1)	—

前述した生活面、学習面の取組により、多くの生徒が学校生活に居心地の良さを感じていることが、上のアンケート結果からもわかります。また、「小中一貫教育目標や重点目標」、「めざす子供像」を意識して生活していることから、ほとんどの生徒が目標をもって生活できていることもわかります。これは、学校生活の様々な場面で仲間同士のつながりや接し方を意識した活動を実践してきた成果であると考えます。

保護者アンケートの結果から、多くの御家庭から本校の教育活動に御理解をいただけていることがわかりました。深く感謝申し上げます。しかし、悩みを相談しにくい、学級の中に居場所がないと感じる生徒が一定数いることも事実です。来年度もより一層、生徒の心に寄り添い、御家庭と同一歩調でお子様の成長を支えていけるよう教育活動を進めてまいります。

令和8年度に向けて

本年度、「安心感」をキーワードに教育活動に取り組んできました。その結果、本校グランドデザインの柱でもある「仲間と安心して過ごしている」、「何事にもあきらめずに粘り強く取り組んでいる」の2つの項目について目標数値を達成することができました。

令和8年度も、「居心地、学び心地のよい学校」となるよう、アンケート結果や御意見を謙虚に受け止め、教職員一同、生徒一人一人に寄り添い、認め、励ましていきます。生徒・保護者の皆さまに更に信頼される学校、教職員集団となるよう、今後も教育活動に取り組んでいきます。御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

次ページに保護者の皆様からの御意見（抜粋）を掲載しておりますので御一読ください。

保護者アンケートより ～ 抜粋～ ◆：学校の回答

○ タブレットPCの使用について

スマートフォンや iPad は使用時間の制限や管理ができるのですが、気付くとタブレットで Youtube を見ている、勉強しているのか遊んでいるのか分かりづらいです。

◆ これからの社会では情報機器の活用は必須となります。活用の一環として、教科によっては、タブレットパソコン内のミライシード内の学習ドリルやロイロでのレポート提出を課題として出しています。レポート作成の際に、インターネットのサイト等を見る場合もあります。適正な行動をとることができるよう、学校でも話をしていきますが、是非、御家庭でもお子様と使用について約束事を決めていただけるようお願いいたします。

○ 防災食の日について

防災食の運用を中止していただきたい。運用自体の意味は分かるのですが、家庭の負担があまりにも大きい。

◆ 防災食の日への御理解と御協力ありがとうございました。この取組は吉原北中校区全小中学校で実施しています。防災食は災害時に保護者が迎えに来るまでのつなぎの食事ですので、満腹になるものでも味に満足するものでもありません。実際に食してみることで、災害時に本当に適したものか、どのように感じるかを生徒一人一人が考えることができます。生徒の感想からも多くの学びが感じられ、貴重な学びの機会ととらえています。防災食には、金銭的にも準備の手間にも御負担をお掛けしますが、大切な学習の機会ですので、来年度も1回（9月頃）実施します。御理解と御協力のほどよろしく申し上げます。

○ 朝、車の送迎時のルールを知らない車がいて、適当に車を止めたり、順番の列に並びずに追い抜いて門を出ようとする車がいて、子どもにも危険がおよぶためやめてもらいたい。

◆ 送迎の仕方については、例年、年度当初に学校だよりにて周知をしております。今後も周知の徹底に努めてまいります。保護者の皆様には、校内では安全を最優先し、送迎ルールの厳守、最徐行、生徒並びに歩行者優先を徹底していただきますようお願いいたします。また、近隣地域から、送迎の車が校内から校外に出る時に突然飛び出して危険だという、お叱りの声をいただいています。行動に出る時には、必ず、一旦停止をして左右の安全確認をお願い致します。

学校運営協議会委員の意見より

- ・北中生は良く挨拶ができていると思う。
- ・地域の体育祭などに積極的に参加してくれている。本当に助かっている。
- ・地域の防災についても担い手として期待している。
- ・今後、地域に中学生がどのようにかかわってくれるか考えていきたい。大人が仕掛けて、中学生を地域に取り込んでいくことが重要。
- ・日によって家でのタブレットの使い方にはばらつきがあるので、親からすると「本当に勉強しているの？」と思う時がある。
- ・部活が地域移行すると聞いている。現実的には難しいのではないかな？地域に部活を下すというのが地域がそんなにできるとは思えない。
- ・部活動の地域移行についてはようやく一歩踏み出したところなので、これからもいろいろ問題が出てくると思う。地域の皆さんと一緒に見守りたい。

※ 貴重な御意見をありがとうございます。今回いただいた御意見を今後の学校運営に活かしていきます。アンケート結果の詳細は次ページ以降をご覧ください。